

「有機分子触媒による未来型分子変換」
第6回公開シンポジウム

日時： 2016年1月22日(金) 9:55-1月23日(土) 15:25(予定)
会場： (一財)大阪科学技術センター 大ホール

プログラム

1月22日(金)

9:55-10:00 挨拶 寺田 眞浩

10:00-11:00 座長 寺田 眞浩

10:00-10:20 IL 1 植田 光洋 (阪府大院理)
有機ボレートアニオン構造を有した分子触媒の開発

10:20-10:40 IL 2 雨夜 徹 (阪大院工)
 π 共役系分子のレドックス機能を活用する有機触媒システムの構築

10:40-11:00 IL 3 瀧川 紘 (東工大院理工)
極性転換を鍵とする連続環化反応の開発とアンギュサイクリノン類合成への展開

11:00-11:20 休憩

11:20-12:20 座長 秋山 隆彦

11:20-11:40 IL 4 鳴海 哲夫 (静岡大院総合科学)
多機能性アゾリウム塩の創製と実践的不斉合成への応用

11:40-12:00 IL 5 矢島 知子 (お茶大院基幹)
有機触媒を利用した光ペルフルオロアルキル化反応の開発

12:00-12:20 IL 6 岡 夏央 (岐阜大工)
キラルプレンステッド酸触媒を用いる不斉ホスホロアミダイト法の開発

12:20-13:30 昼食

13:30-15:30 ポスター発表 (PS1 - PS45)

13:30-14:30 奇数番号

14:30-15:30 偶数番号

15:30-16:50 座長 林 雄二郎

- 15:30-15:50 IL 7 矢内 光 (東京薬科大薬)
強酸性炭素酸を鍵構造とする新しい有機分子触媒の設計と利用
- 15:50-16:10 IL 8 是永 敏伸 (岩手大工)
含フッ素有機酸化剤によるグリニャール試薬の触媒的ホモカップリング反応
- 16:10-16:30 IL 9 尾野村 治 (長崎大院医歯薬)
有機分子触媒を用いるアルカンの高効率酸化
- 16:30-16:50 IL 10 小槻 日吉三 (高知大)
有機不斉触媒反応を活用した第四級不斉炭素中心含有生物活性天然物の合成
- 16:50-17:10 休憩

17:10-18:20 座長 北 泰行

- 17:10-18:20 PL 1 丸岡 啓二 (京大院理)
有機触媒化学分野は何処へ行くのか?
- 18:30-20:30 懇親会 — 大阪科学技術センター 7F レストラン —

1月23日(土)

9:30-10:30 座長 竹本 佳司

- 9:30-9:50 IL 11 草間 博之 (学習院大理)
光誘起電子移動反応に基づくイミドイルラジカル種の生成と反応
- 9:50-10:10 IL 12 上條 真 (山口大院理工)
光励起ケトンを活性化剤とする分子骨格への直接的官能基導入法の拡張と深化
- 10:10-10:30 IL 13 入江 亮 (熊大院自然)
o-アルキニルビアリール系の触媒的不斉ドミノ環化
- 10:30-10:50 休憩

10:50-11:50 座長 林 雄二郎

- 10:50-11:10 IL 14 波多野 学 (名大院工)
キラル 3,3'-二置換ビナフチルジスルホン酸を用いる高活性有機分子触媒の精密設計
- 11:10-11:30 IL 15 松谷 裕二 (富山大院医薬)
NHC 型触媒とシリル転位による新規シリルジエノールエーテル合成法の開発

11:30-11:50 IL 16 濱島 義隆 (静岡県大薬)
P/P=O 型ルイス塩基触媒によるアリルアミドの不斉プロモ環化反応

11:50-13:00 昼食 (班会議) (小ホール)

13:00-14:00 座長 秋山 隆彦

13:00-13:20 IL 17 田中 富士枝 (沖縄科学技術大院大)
高性能アミン触媒システムの開発

13:20-13:40 IL 18 Woo-Jin Yoo (東大院理)
Novel Chiral Bifunctional Heterogeneous Catalysts for Asymmetric Tandem Reactions

13:40-14:00 IL 19 原口 直樹 (豊橋技科大院工)
高分子固定化型キラル有機分子触媒によるワンポット合成法の開発

14:00-14:20 休憩

14:20-15:20 座長 寺田 眞浩

14:20-14:40 IL 20 松原 亮介 (神戸大院理)
高い還元能を有する光誘起電荷移動状態を形成する有機触媒の開発

14:40-15:00 IL 21 御前 智則 (兵庫県大院物質理)
キラルニ官能性有機分子触媒によるカルボン酸誘導体 α 位での C-C 結合形成反応の開発

15:00-15:20 IL 22 三宅 由寛 (名大院工)
光誘起電子移動によるアニリン誘導体の酸化を鍵段階とする α, β -不飽和カルボニル化合物の α 位選択的アリール化反応

15:20-15:25 閉会 (ポスター賞発表)

— 終了 —

ポスター発表

- PS 1 池上真子・矢島知子(お茶大院人間文化創成科学)
有機色素を触媒とする末端アルキンへの可視光ヨウ化ペルフルオロアルキル化反応
- PS 2 松井春奈・矢島知子(お茶大院人間文化創成科学)
エナミンを経由するアルデヒドに対する光ペルフルオロアルキル化反応
- PS 3 大島有貴・山田眞二・都築誠二†(お茶大院人間文化創成科学・産総研†)
光増感型アンモニウム触媒を用いる立体選択的 Norrish-Yang 反応
- PS 4 奥野義規・磯村茂樹・武田収功(横浜薬科大)
Flow System に適応可能な Graft 型高分子固定化触媒の開発
- PS 5 萬代大樹¹・藤居一輝¹・安原宏¹・是永敏伸²・菅誠治¹(岡山大院自然¹・岩手大工²)
高活性不斉求核触媒を用いるアルコール類のエナント選択的アシル化反応
- PS 6 馬場智明・RameshYella・山本寛・田中雄也・古田巧・川端猛夫(京大化研)
アニリンアミノ基を活性中心とした酸-塩基型触媒によるメソ型脂肪族ジアールの不斉非対称化
- PS 7 浅野圭佑・米田直紀・深田幸宏・松原誠二郎(京大院工)
アミノチオウレア触媒による不斉スピロケタール合成
- PS 8 小林祐輔・倉本竜太・葉山登・竹本佳司(京大院薬)
tocopherol 誘導体合成を指向した不斉分子内オキサマイケル反応の開発
- PS 9 斉藤真人・小林祐輔・竹本佳司(京大院薬)
ハロゲン結合によるイリドの活性化を利用した四級炭素構築法の開発
- PS 10 青田雄介・浅川大輔・加納太一・丸岡啓二(京大院理)
Brønsted 酸触媒による Boc 保護アミナルとアルデヒド間の Mannich 型反応の開発
- PS 11 伊藤僚・覚知亮平・井改知幸・高橋憲司・前田勝浩・加納重義(金沢大院自然)
イオン液体の有機分子触媒能に関する反応機構解析
- PS 12 合志圭・森永侑加・石川勇人(熊大院自然)
ジヒドロリコルシンの不斉全合成研究
- PS 13 小谷俊介^{1,2}・アリム ネイタン レイ¹・宮崎詩季¹・下田康嗣¹・杉浦正晴¹・中島誠¹
(熊大院生命¹・熊大院先導機構²)
ホスフィンオキドを有機分子触媒として利用した2,3-ジヒドロ-4-ピラノンの不斉合成法の開発
- PS 14 別府翔太・荒江祥永・入江 亮(熊大院自然)
キラルな塩基触媒を用いる 2-アルキニルビアリール類の不斉ヒドロアリール化
- PS 15 杉浦正晴・久保山征宣・石川和紀・中島誠(熊大院生命)
キラルな α -ヒドロキシカルボン酸触媒によるジボロンの活性化

- PS 16 浦川一樹¹・隅本倫徳²・有澤光弘³・松田真生¹・石川勇人¹(熊大院自然¹・山口大院理工²・阪大院薬³)
チアゾリニウム塩触媒を用いたオルトキノ含有多環芳香族化合物の合成と光学特性評価
- PS 17 渡邊瑞希・上條香織・埜圭介・村藤俊宏・上條真(山口大院理工)
光エネルギーを利用した C(sp³)-H 結合への直接アジド基導入法
- PS 18 都築誠二(産総研)
電荷移動錯体の引力の原因:キノン類と芳香族分子の相互作用
- PS 19 浅田純司¹・江上寛通¹・佐藤健太郎¹・橋爪大輔²・川戸勇士¹・濱島義隆¹
(静岡県大院薬¹・理研²)
新規相間移動触媒を用いた不斉フルオロラクトン化反応
- PS 20 Thien, Le Phuc¹・Ryuji, Kyan²・Tetsuo, Narumi²(Faculty of Engineering, Shizuoka Univ.¹, Graduate School of Science and Technology, Shizuoka Univ.²)
Asymmetric Homoenate Additions of Enals to Arylaldehydes Catalyzed by a Newly Identified NHC Catalyst with Fluorine Stereoelectronic Effects
- PS 21 間瀬暢之・中谷吉孝(静岡大院総合科学)
超臨界二酸化炭素中における有機分子触媒的環状ポリ乳酸合成
- PS 22 喜屋武龍二・鳴海哲夫(静岡大院総合科学)
高活性イミダゾリウム塩の創製:窒素上の置換基、塩基および添加剤の速度論的評価
- PS 23 原田慎吾¹・村田峻一¹・野崎智之¹・黒田悠介²・山田健一²・高須清誠²・濱田康正¹・根本哲宏¹(千葉大院薬¹、京大院薬²)
キラルプレンステッド酸触媒による非対称化を利用したカタランチンの不斉全合成研究
- PS 24 鋤野哲・鈴木拓己・井上貴博・荒井孝義(千葉大院理)
協調作用を有する第二級アミン不斉有機触媒の開発
- PS 25 岸鉄馬・滝澤忍・吉田泰志・笹井宏明*(阪大産研)
エナンチオ選択的非対称化を基盤とする二連続不斉炭素を有する複素環化合物の合成
- PS 26 竹本憲太・清川謙介・南方聖司(阪大院工)
ヨウ素酸を活用した第三級炭素のリッター型 C-H アミノ化
- PS 27 上田篤志¹・梅野智大¹・赤川賢吾²・工藤一秋²・田中正一¹(長崎大院医歯薬¹, 東大生研²)
フォールドマーのヘリカル2次構造の精密分子設計とその利用
- PS 28 赤川賢吾・岩崎由美香・工藤一秋(東大生研)
水系溶媒中でのライブラリスクリーニングによるペプチド触媒の創製
- PS 29 細谷圭介¹・小田木陽¹・山中正浩²・長澤和夫¹(東京農工大院工¹・立教大理²)
グアニジン-ウレア触媒を用いたテトラロン誘導体のβ位およびγ位の酸化的速度論的光学分割の開発
- PS 30 小田木陽・山本祥晴・長澤和夫(東京農工大院工)
グアニジン-ウレア触媒を用いたβ-ケトエステルα位の不斉アミノ化反応の開発

- PS 31 清水雅大・近藤梓・寺田眞浩(東北大院理)
キラルプレステッド酸触媒を用いた分子内 S_N2' 反応による第四級不斉中心の構築
- PS 32 近藤梓・小平健太・寺田眞浩(東北大院理)
プレステッド塩基触媒による β, γ -エポキシエステルとイミンの形式的 [3+2] 環化付加反応
- PS 33 田上拓磨・荒川幸弘・南川慶二・今田泰嗣(徳島大院ソシオテクノ)
フラビン-アミン複合型触媒によるアルデヒドの光誘起 α -オキシアミノ化反応
- PS 34 山野本健・荒川幸弘・南川慶二・今田泰嗣(徳島大院ソシオテクノ)
ペプチド鎖を有するフラビン分子による触媒的酸素酸化反応
- PS 35 佐々木希・川崎洋平・柴富一孝・岩佐精二(豊橋技科大院工)
Hunsdiecker 型反応による α -ハロケトンの触媒的不斉合成
- PS 36 松田奈純・小原睦代・中村修一(名工大院工)
環状ケチミンへの新規光学活性イミダゾリン-リン酸触媒を用いる不斉 Friedel-Crafts 反応
- PS 37 戸田朱香・佐野正英・中村修一(名工大院工)
シンコナルカルコイドスルホンアミド触媒を用いたクマリン 3-カルボン酸に対する脱炭酸型不斉共役付加反応の開発
- PS 38 古川桂佑・澁谷正俊・山本芳彦(名大院創薬)
ニトロキシラジカル型酸化触媒を利用した α -ヒドロキシ酸および α -ケト酸の酸化的合成法の開発
- PS 39 野田洋史¹・榎山儀恵²・寺田眞浩³・山中正浩¹(立教大院理¹・分子研²・東北大院理³)
カルボン酸-リン酸触媒を用いた不斉ヘテロ Diels-Alder 反応の理論的研究
- PS 40 山本絵莉・山中正浩(立教大院理)
リン酸-ボラン触媒による α, β -不飽和ケトンに対する不斉 1,4-還元反応の理論的研究
- PS 41 佐藤真・山中正浩(立教大理)
P-スピロキラルイミノホスホラン触媒を用いたアズラクトンとプロピオール酸メチルのマイケル反応の理論的解析
- PS 42 上田中徹・高室ひと穂・坪島昂平・土肥寿文・北泰行(立命館大)
キノンモノアセタールを利用したフェノールオルト位求核種カップリング
- PS 43 森本功治・坂本一真・高橋優介・土肥寿文・北泰行(立命館大)
ヨウ素反応剤を用いたフェノール類の触媒的酸化的クロスカップリング反応の開発
- PS 44 吉田雅紀(旭川高専)
ポリエーテル鎖を有する第一級アミノ酸の合成と有機分子触媒反応への利用
- PS 45 樋谷祐貴・手島樂・徳永信(九大院理)
オウレア基を有するキラル四級ホスホニウム塩を用いた塩基加水分解的不斉プロトン化反応